



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月7日

東

上場会社名 サイボー株式会社

上場取引所

コード番号 3123

URL <https://www.saibo.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 飯塚 榮一

問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部 財務部長兼経理部長（氏名） 白田 浩二 TEL 048-267-5151

半期報告書提出予定日 2025年11月10日 配当支払開始予定日 2025年12月5日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	5,430	4.0	673	26.6	783	1.9	785	36.5
2025年3月期中間期	5,222	△7.0	531	△6.9	769	5.9	575	10.1

（注）包括利益 2026年3月期中間期 1,374百万円（258.6%） 2025年3月期中間期 383百万円（△58.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	60.92	60.85
2025年3月期中間期	43.97	43.92

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	42,642	21,402	44.5
2025年3月期	41,947	20,131	42.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 18,958百万円 2025年3月期 17,735百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
2026年3月期	—	8.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	8.00	16.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,513	2.1	1,224	51.9	1,366	9.5	1,092	27.0	84.71

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 —社 (社名) 、除外 —社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期中間期	13,600,000株	2025年3月期	13,600,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	708,321株	2025年3月期	715,321株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2026年3月期中間期	12,887,881株	2025年3月期中間期	13,080,122株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、(添付資料)3ページ「1. 経営成績等の概況 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善やインバウンド需要の増加等を背景に景気は緩やかな回復基調にある一方で諸物価の上昇、為替・金利変動の影響に加え、米国の通商政策や中国経済の動向等による景気の下振れリスクもあり、国内景気は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループにおける事業環境は、繊維事業では、企業向けユニフォームのモデルチェンジ需要の増勢、熱中症対策ウェアやプリント加工事業の受注が堅調に推移しましたが、海外からの製品等仕入れにおいて、為替変動及び原材料や物流費高騰の影響を受ける等のマイナス材料に加え、一部取扱品において需要の低迷により厳しい事業活動となりました。なお、刺繍レースを扱うフロリア(株)は、従前より不採算事業であったため、当社グループ全体の経営基盤の強化や経営の効率化を図る観点から、解散及び清算を選択・決議し、9月30日をもって事業撤退しました。

不動産活用事業は、賃貸物件である大型商業施設「イオンモール川口前川」、「イオンモール川口」や病院施設等からの安定した賃貸収入を維持しており、引き続き営業収益の安定化が図られております。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は5,430百万円(前年同期比4.0%増)となりました。営業利益は673百万円(前年同期比26.6%増)となり、経常利益は783百万円(前年同期比1.9%増)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、一部の貸倒引当金がスケジュールリング可能となり、当該一時差異の回収が見込まれる部分について法人税等調整額(益)を計上したことから、785百万円(前年同期比36.5%増)となりました。

事業別セグメントの概況は次のとおりであります。当中間連結会計期間から、「その他」に含まれていた「インテリア施工事業」について量的な重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

① 繊維事業

マテリアル部は、原糸では環境対応商品のポリエステルバイオ糸が拡販できたものの、既存取扱い原糸販売先の生産調整による影響を受けたことや、アウトドア関連では防災用テント等の取扱いを始めましたが、既存商品の出荷が振るわず減収となりました。なお、前期までのアウトドア部は当期より当該部門の一事業として組織変更しております。

アパレル部は、販売先への価格転嫁が順調に進んだことや企業向けユニフォームの追加受注がありましたが、前期ほどの受注増には至らず減収減益となりました。

プリント加工品の製造・販売を行うサイボークリエイティブ(株)は、主力取引先の受注は堅調に推移したものの、増加する受注に対応するための人件費が増加し減益となりました。

糸糊付加工を営む日宇産業(株)は、織布の受注が増加した一方、サイジング受注が減少したことで工場稼働率が低下し減収減益となりました。

この結果、繊維事業の売上高は2,560百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益は46百万円(前年同期は150百万円の営業損失)となりました。

② 不動産活用事業

不動産活用事業は、「イオンモール川口前川」が近隣の大型商業施設に比べ回遊型ショッピングが楽しめ、お客様の利便性と近隣住民の生活環境にあった専門店選びが評価されております。また「イオンモール川口」は、開店から5年目を迎え近隣住民生活の一部として受け入れられており、病院施設等と併せ地域インフラとして定着し、ともに売上及び収益の安定化に寄与しております。なお、前期に比べイオンモール川口前川等の修繕費用が増加したことにより減益となりました。

この結果、不動産活用事業の売上高は1,870百万円(前年同期比0.9%減)、営業利益は518百万円(前年同期比4.5%減)となりました。

③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)が営む川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ練習場は、猛暑等の天候の影響や設備の改修により入場者数が減少したものの、主要施設で値上げしたことからの増収増益となりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は477百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は22百万円(前年同期は500百万円の営業損失)となりました。

④ インテリア施工事業

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、一般工事物件の受注は減少したものの、大型物件の受注獲得により増収となり、前期と比べ採算性が向上し増益となりました。

この結果、インテリア施工事業の売上高は874百万円(前年同期比207.6%増)、営業利益は112百万円(前年同期比700.3%増)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

資産は、前連結会計年度末に比べ694百万円増加して42,642百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少や有形固定資産の減価償却が進んだこと等により減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産や土地並びに投資有価証券が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ576百万円減少して21,239百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が増加したものの、長期借入金が減少したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,270百万円増加して21,402百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する中間純利益の計上やその他有価証券評価差額金が増加したこと等によるものであります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は前連結会計年度末に比べ167百万円減少して3,515百万円となりました。

営業活動の結果、得られた資金は前中間連結会計期間に比べ50百万円減少して907百万円となりました。これは主に仕入債務が増加したものの、貸倒引当金の減少や、売上債権の増加があったこと等によるものであります。

投資活動の結果、支出した資金は前中間連結会計期間に比べ443百万円増加して592百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が増加したこと等によるものであります。

財務活動の結果、支出した資金は前中間連結会計期間に比べ161百万円減少して479百万円となりました。これは主に長期借入金の返済による支出が減少したこと等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期連結及び通期個別業績予想につきましては、2025年11月6日に公表いたしました「業績予想の修正等に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,917,933	3,752,968
受取手形、売掛金及び契約資産	1,004,849	1,202,965
有価証券	36,444	40,915
商品及び製品	1,362,799	1,273,165
仕掛品	12,533	5,384
原材料及び貯蔵品	96,845	105,287
その他	126,677	121,413
貸倒引当金	△102	△100
流動資産合計	6,557,981	6,502,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,800,608	19,327,038
土地	8,152,548	8,418,131
その他(純額)	340,612	412,467
有形固定資産合計	28,293,769	28,157,637
無形固定資産	3,163	2,763
投資その他の資産		
投資有価証券	6,601,304	7,401,833
その他	1,100,823	1,131,714
貸倒引当金	△609,149	△553,924
投資その他の資産合計	7,092,978	7,979,623
固定資産合計	35,389,911	36,140,024
資産合計	41,947,893	42,642,025

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	483,671	651,815
短期借入金	—	30,000
1年内返済予定の長期借入金	757,950	757,156
未払法人税等	221,605	253,840
賞与引当金	78,425	74,921
役員賞与引当金	7,000	3,500
その他	814,650	521,584
流動負債合計	2,363,302	2,292,817
固定負債		
長期借入金	12,122,153	11,743,575
役員退職慰労引当金	160,790	156,961
退職給付に係る負債	201,204	204,602
長期預り保証金	5,594,343	5,596,577
資産除去債務	909,025	911,975
その他	465,374	332,892
固定負債合計	19,452,891	18,946,585
負債合計	21,816,194	21,239,403
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	825,348	825,348
利益剰余金	14,306,038	14,987,856
自己株式	△431,391	△428,016
株主資本合計	16,101,994	16,787,188
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,371,416	1,881,009
繰延ヘッジ損益	175,411	209,020
退職給付に係る調整累計額	86,615	81,688
その他の包括利益累計額合計	1,633,443	2,171,718
新株予約権	3,629	2,518
非支配株主持分	2,392,630	2,441,196
純資産合計	20,131,698	21,402,622
負債純資産合計	41,947,893	42,642,025

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	5,222,902	5,430,440
売上原価	3,811,372	4,067,066
売上総利益	1,411,530	1,363,374
販売費及び一般管理費	879,980	690,331
営業利益	531,549	673,042
営業外収益		
受取利息	265	818
受取配当金	72,228	72,848
持分法による投資利益	216,438	85,990
その他	21,069	4,866
営業外収益合計	310,002	164,523
営業外費用		
支払利息	46,812	43,944
その他	25,330	9,689
営業外費用合計	72,143	53,633
経常利益	769,408	783,932
特別利益		
新株予約権戻入益	740	1,280
特別利益合計	740	1,280
特別損失		
固定資産除却損	—	29,632
特別損失合計	—	29,632
税金等調整前中間純利益	770,148	755,580
法人税、住民税及び事業税	203,218	249,258
法人税等調整額	△16,247	△327,316
法人税等合計	186,970	△78,057
中間純利益	583,177	833,638
非支配株主に帰属する中間純利益	7,999	48,566
親会社株主に帰属する中間純利益	575,178	785,071

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	583,177	833,638
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124,181	481,762
繰延ヘッジ損益	5,908	33,608
持分法適用会社に対する持分相当額	△81,520	25,635
その他の包括利益合計	△199,793	541,007
中間包括利益	383,383	1,374,645
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	378,740	1,323,347
非支配株主に係る中間包括利益	4,643	51,297

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	770,148	755,580
減価償却費	702,723	694,234
貸倒引当金の増減額(△は減少)	113,991	△55,227
賞与引当金の増減額(△は減少)	18,570	△3,504
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,500	△3,500
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,263	3,398
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△62,506	△3,828
受取利息及び受取配当金	△72,493	△73,666
支払利息	46,812	43,944
持分法による投資損益(△は益)	△216,438	△85,990
売上債権の増減額(△は増加)	401,851	△189,111
棚卸資産の増減額(△は増加)	168,243	88,340
仕入債務の増減額(△は減少)	△729,940	168,143
その他	135,440	△243,360
小計	1,270,639	1,095,452
利息及び配当金の受取額	72,721	73,893
利息の支払額	△46,812	△43,944
法人税等の支払額	△339,189	△218,156
営業活動によるキャッシュ・フロー	957,358	907,246
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却による収入	73,375	—
有形固定資産の取得による支出	△206,541	△562,635
固定資産の除却による支出	△5,030	△29,632
有形固定資産の売却による収入	—	376
投資有価証券の取得による支出	△89,861	△24,951
投資有価証券の売却による収入	28,314	26,772
定期預金の増減額(△は増加)	6,099	△2,116
貸付けによる支出	—	△2,500
その他	44,496	2,104
投資活動によるキャッシュ・フロー	△149,148	△592,582
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	130,000	130,000
短期借入金の返済による支出	△100,000	△100,000
長期借入金の返済による支出	△539,739	△379,372
配当金の支払額	△104,629	△103,077
非支配株主への配当金の支払額	△2,732	△2,732
ストックオプションの行使による収入	2,640	3,150
その他	△27,264	△27,949
財務活動によるキャッシュ・フロー	△641,724	△479,980
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,970	△1,764
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	160,514	△167,081
現金及び現金同等物の期首残高	3,421,239	3,682,627
現金及び現金同等物の中間期末残高	3,581,754	3,515,546

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	インテ リア施 工事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	2,844,270	1,745,745	447,908	184,976	5,222,902	—	5,222,902
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	141,284	—	99,465	240,782	△240,782	—
計	2,844,303	1,887,030	447,908	284,442	5,463,684	△240,782	5,222,902
セグメント利益 又は損失(△)	△15,171	542,562	△5,514	14,063	535,940	△4,391	531,549

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (千円) (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 2
	繊維事業 (千円)	不動産活 用事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	インテ リア施 工事業 (千円)	計 (千円)		
売上高							
外部顧客への売上高	2,560,334	1,747,111	477,385	645,609	5,430,440	—	5,430,440
セグメント間の内部 売上高又は振替高	374	123,214	—	229,338	352,928	△352,928	—
計	2,560,709	1,870,325	477,385	874,948	5,783,368	△352,928	5,430,440
セグメント利益	46,553	518,404	22,597	112,544	700,099	△27,056	673,042

(注) 1 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「インテリア施工事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については変更後の区分により作成したものを記載しております。